

FVI「声なき者の友」の輪
Friends with the Voiceless International



かんだより。
Letter from Kandas.

南米チリ・アタカマ砂漠

2016年6月11日 (Wikipediaより)



2024年 夏号

URL : <http://www.karashi.net/>

「砂漠」を「花園」に

荒野と砂漠は喜び、荒れ地は喜び躍り、サフランのように花を咲かせる。

盛んに花を咲かせ、歓喜して歌う。(イザヤ 35:1a)

目の前の現実がどんなに「砂漠」のように殺伐としたものであったとしても、神はご自分のタイミングで「花園」に変えてくださるという約束の言葉です。正義と公正が支配する「神の国」を実現なさるというのです。未来の見えない世界に住む私たちにとって何という幸いでしょう。

砂漠を花園に変えるために、神はご自分に協力する者たちを選び、召し出してくださるのです。「あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命しました。それは、それは、あなたがたが行って実を結び、その実が残るようになるためです。」(ヨハネ 15:16)

神はその者たちに、ご自分の霊を注ぎ、新しい命を与え「世の光、地の塩」と呼び、神と共に働く特権を与えておられるのです。各々は小さな“からし種”のような存在であったとしても、この社会から闇を追い払い、腐敗を防ぎ、社会全体に味付けをする役目が与えられているのです。折角与えていただいた光を、升の下に隠したり、塩気を失ったりして、「砂漠を花園にする」業に共に関わらせていただける特権をないがしろにすることのない「イエスの弟子」とされたいものです。「信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです」(ヘブル 11:1)ので、今はまだ見るできない「花園」ですが、信仰の目でその日を待ち望みつつ、「小さな愛の種」としての特権を享受したいものです。

「声なき者の友」の輪 神田英輔

* F V I の働きは皆様からのご支援に支えられているカタリストによって担われています。 献金で各カタリストをご支援くださる際には、振り込み用紙に「神田指定」などとカタリスト名をご明記ください。